

2020年度 第1回CSR委員会 議事録

日 時 2020年4月14日(火) 13:00～15:30
 会 場 日本代協 会議室
 出席者 20名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
上信越	小田島 綾子	南関東	安田 哲生	東中国	山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	三浦 起世光	西中国	藤本 展久
北東北	寺田 昭夫	東海	福村 幸郎	四国	高嶋 英樹
南東北	沓澤 六雄	北陸	三上 茂	九州北	桜井 敏雄
上信越	近藤 亨	近畿	山口 裕貴	九州南	田中 栄治
東関東	伊藤 綱人	阪神	西川 秀俊		

<担当副会長> 横山 健一郎 <事務局> 専務理事:野元 敏昭、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、 :副委員長

<委員会での決定事項>

- ・「ぼうさい探検隊」の案内は状況を踏まえ案内していく
- ・次回開催日はGW前までに決定し案内する
- ・

議 事

・挨拶

1. 小田島委員長挨拶

- ・コロナ関連で色々な事に心砕かれながら対策を講じ頑張っているかと思います。平和だった日本が深刻な状況になっていますが、ここを乗り越えているんなことができるようになるという希望を持って頑張っていきたいと思います。
- ・このメンバーで議論する締めくくりの委員会がWebになりますが宜しくお願いします。
- ・限られた時間なのでスムーズに進行できるよう協力をお願いします。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に高嶋副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・審議事項

1. 前回委員会の振り返り

- ・前回のCSR委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

2. 2020年度事業計画

小田島委員長より下記の通り報告があった。

- ・事業計画のポイント「地球環境保護・社会貢献活動」につき確認した。
- ・実効性あるCSR活動の展開「取り組み方針」につき確認した。
- ・統一活動 A全国ベースの取組み「地震保険の普及・付帯率アップ」「ぼうさい探検隊マップコンクールへの参画」「子ども110番の保険代理店の推進」「サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進」「無保険

車追放運動」の 5 点につきブロック協議会や各代協で今年度の取組みにつきお知らせする際は本資料(2020 年度事業計画書)を使用し詳しく話してください。

- ・なぜならば、昨年の取組みが委員会に残っていたり資料が古かったりすると同じ活動なのに考え方や内容に少しずつ変化が出てきているので十分に留意して欲しい。
- ・統一活動 B 地域限定の取組み「盗難防止キャンペーンへの参画」についてはとくに盗難が多い地域に限定して行う。
- ・代協独自活動については本資料の中で見分けて活発に活動してください。
- ・「学校教育への取組み」につき確認した。
- ・2020 年度もこの計画に則って活動していきましょう。

3. ぼうさい探検隊の取組み・次年度に向けた課題と留意点

小田島委員長より以下の通り報告があった。

- ・このような状況下において、地域によっては時期が来れば実施できると思うので、いつも案内している先には実施するかどうかは判断いただくが案内はしっかりさせていただくという方向性で提案してください。
- ・ただし、学校が閉鎖されているところには常識的に考え、状況に合わせた対応をしてください
- ・損保協会も、いつも通りにコンクールは案内していただくが数字を求めるのではなく防災マップの考え方を広げていくことに重きをおいていくとのことである。
- ・昨年タブレットを使った学校が受賞しており、今年はタブレットの貸し出しによる活用取組みを推進していくそうなのでこの点をしっかり案内してください(タブレットの貸し出しは 40 台であり申込み順)。
- ・「ぼうさい探検隊」提案書に取組みの背景やタブレット活用に触れているので確認してください。
- ・次年度に向けての課題としては、これまで通り三冠王のポイントに関係はしてくるがコロナ対策を最優先してもらっている現状を踏まえ、結果を数字にもっていかない方向であるので了解願いたい
- ・野元専務より、タブレットは協会からその地域の地図・情報が入っているタブレットを貸出し効率的にマップが作成できるようになっており、タブレットを返却することでデータの報告となるとの補足があった(現状個人情報との関連で貸出のみとなっている)。
- ・高嶋委員長より、この取組をしっかり次の委員に引継ぎ、いつでも案内(終息した地域から)できるようにしておいてくださいと補足があった。

4. 各ブロック活動報告

- ・事前に提出されたチェックシートの集約結果を確認し、前回委員会以降の活動状況とコロナ対策として取組んでいることを報告した。

(北海道)

年末年始に函館発祥の独自活動タオルボランティアを 9 支部で行い、函館では 1,001 本の新品タオルを集め 200 本ずつ 5 施設に寄贈した(札幌 6 施設、室蘭 2 施設、旭川は幼稚園へ、苫小牧 5 月寄贈予定)。また、旭川で例年行っているチャリティ募金に端を発し苫小牧、千歳でも実施し函館においては防災マップを作るための基金として寄付を行った(寄付の際は市長に出席いただきマスコミに連携しアピール)。

(北東北)

宮城で 1 校、岩手で 5 校の出前講座開催。岩手で社会福祉協議会へ募金と使用済み切手を贈呈し新聞に取り上げられた。また、秋田ではサイバーセミナーを実施し 3 県全て完了した。

ブロック協議会が縮小開催だったため各県の CSR 委員化の情報は取れなかった。

県代協開催時に前回 CSR 委員会で案内された広島県代協の取組みを紹介し評判が良かった。

(南東北)

全国ベースとして宮城、福島、山形とも地震保険普及、サイバー実施、地域限定として福島で盗難防止、代協独自活動として宮城で出前講座、福島では献血、山形で出前講座をそれぞれ実施した。

(上信越)

ブロック会議は長野と群馬だけでの開催となった。長野は2地区で献血、群馬は3地区で献血を実施。ブロック会議で今後のペーパーレス会議開催の要望があった。

(東関東)

赤い羽根共同募金を千葉で実施し集まった募金を「いのちの電話」へ寄付をした。

(南関東)

コロナ対策として代申社から対面募集は控えるよう指示があり、極力外出しないで営業している。CSR活動は特になし。

(東京)

コロナ対策としてテレワークを実施し、3名体制で郵送・電話中心で対応しているが特に問題は発生していない(他社員は在宅)。

「ぼうさい探検隊」のリーダー養成講座を企画していたがコロナの影響で延期となってしまった。

(東海)

独自活動として清掃活動、交通安全キャンペーン期間中の旗振り、社会貢献活動の一環として社会を明るくする運動を実施した。出前講座の積極開催、「ぼうさい探検隊」の県格差を解消が次年度の課題である。コロナ対策は保険会社からの指導があり2名体制で運営しており、CSR活動の根源をいかに日々の代理店活動に展開していくかが今後の課題である。。

(北陸)

前回の委員会から主だった活動はなかったが、福井と石川ではチラシを校長先生宛にチラシを配布し出前講座5校の実施を達成した。自身が講師をやってみて高校生にどう伝えるかが講師の難しさだということを実感した。

コロナ対策はマスク着用、手洗い徹底、代車関係の消毒を実施している。

(近畿)

京都マラソンボランティアで沿道整理等を実施した。

(阪神)

ブロックで「防災落語」を開催、大阪で企画した「ぼうさい探検隊」リーダー養成講座は中止となったが、個人的に2名に対し養成講座を行い、ためになる活動であるということ気付いてもらった。

コロナ対策のワッペン作成し営業している。

(東中国)

前回委員会の後にブロック協議会があり「ぼうさい探検隊」の反省点につき話し合ったが、その中で窓口を日本代協にしてくれないかとの要望があった(高嶋副委員長より本業と同じく現場で対応すべきでではあり現状は難しい、ただ要望として事務局よりあげてほしいとの意見があった。

(西中国)

宇部支部で「ぼうさい探検隊」を賛否両論あったが強行実施した。行事が中止となっていく中献血だけは実施してくれとの要望があり6支部で実施した。

(四国)

サイバーセキュリティセミナーを実施できていない愛媛と徳島は6月に実施予定。
CSR活動はこの2か月間動きなし。
コロナ対策は事務員2交代制、営業は事務所に出社しないで業務を行う予定です。

(九州北)

サイバーセキュリティセミナーは全県実施済。九州北ブロックCSR委員会を2月に開催し北ブロックから出前講座の良い取組みを作っていこうと討議した。

(九州南)

熊本では堅調に交通遺児募金(21回目)、鹿児島では「子ども110番」登録店に対する活動状況アンケートを実施した。宮崎だけサイバーセキュリティセミナーを開催できていないが、延期となっている。

5.1年間の振り返り

小田島委員長より所感が読み上げられた。

- ・「ぼうさい探検隊マップ」推進において委員一人ひとりの思いが熱く強くなり行動の変化変化が起き今までの壁を突破してくれました。
- ・3冠王にも影響するため責任があったが、代協会員さんの意識も変わり協力をいただいたことに心より感謝します。
- ・今年のPR動画でも各代協がCSR活動を大きな柱としていることを知り、活動の幅を広げていることを委員会の場で共有できました。
- ・昨年は自然災害が多発し、防災減災の意識が高まり委員会として、これからという時にコロナとの戦いです
- ・今までのようにCSR活動は行えないかもしれないが、出来る方法で考え実行していきたいです。
- ・皆さんとご一緒出来て本当に良かったです、心が豊かになり、この2年間は私の宝です。
- ・本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

1年後・未来のCSRの取組みにつき意見を各委員よりもらった。

・報告事項・情報共有事項

1. 理事会、臨時総会報告

- ・事前配布資料にて枚葉を確認した。

2. 2019年度第2回活力研

- ・事前配布資料で内容を確認した。

・その他・閉会

1. 情報提供

- ・事務局より、関東財務局の代理店ヒアリング結果が4月24日に公表されます。事前に日本代協には内容が伝えられるので各代協に報告いたします。
- ・次回開催については別途調整します。
- ・沓澤さんより4月15日NHK「ためしてガッテン」で留守番電話対策に出演するので見てみて下さい。

2. 横山副会長挨拶

- ・お疲れ様でした。お聞き苦しいところありましたが勘弁してください。
- ・CSR 委員会として最後の会議が Web 会議となりましたが、全世界的なパンデミック対応としてかねてより日本代協で検討してきた Web 会議システムがこのような形で実施されることとなりました。
- ・まさにこれが、BCP の実践ということになったのだと思います。
- ・急場をしのぐのではなく、このような事態を想定しながらの仕組み作りに役員・委員の皆さまの忌憚のないご意見や斬新な発想がこのような形で活かされたこととなります。
- ・小田島委員長を中心に取組み頂いた CSR 委員会も 2 年が過ぎようとしておりテーマは多岐にわたりその守備範囲の広さを改めて思います。
- ・特に「ぼうさい探検隊」マップコンクールの参画について昨年度は 78 団体 384 マップの実績を上げることができさらに促進することが出来ました。毎回討議頂いた成果であると高く評価いたします。
- ・防災、減災、防犯への取組み地震保険の普及促進・付帯率アップ子ども 110 番サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進等 2020 年度の事業計画にしっかり盛り込んでスタートできると思います。
- ・いずれの事業も一般市民との交流無くしては活動をすいしんすることができないテーマばかりです。そこへ新型コロナ感染という目に見えない外敵の前に生きることすら脅かされ人と人との交流を遮られ経済活動は鈍化していく世の中になってしまってます。
- ・私達保険代理店は、不慮の事態に対して日頃から備えていくことの重要性を一人でも多くの人にお伝えしそのリスクコントロールをすることへの提案をプロの視点で伝えることが使命です。
- ・一人の募集人の力では限界があり、だからこそ代協という組織の存在があります。
- ・「一人の一步より百人の一步」が組織運営に欠かせないものと考えておりその流れを次世代に繋げていくためにもこのメンバーで真剣に考え、検討し議論してきたことを各ブロックや所属代協に伝えていただき、この未曾有の事態が収束した暁には活動が変化し、推進できるようお力添えをお願いいたします。
- ・改めて皆様のご協力に心から感謝を申し上げますと共に益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げまして所感といたします。
- ・本日はお疲れさまでした。

以上

次回開催日 2019 年 6 月日(木) 調整中